

製品名: NOS3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14804**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:50-1:300
分子量	130-140kDa

抗原情報

遺伝子名	NOS3
別名	NOS3; Nitric oxide synthase; endothelial; Constitutive NOS; cNOS; EC-NOS; Endothelial NOS; eNOS; NOS type III; NOSIII
遺伝子 ID	4846.0
SwissProt ID	P29474
免疫原	抗血清はヒト eNOS 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1145-1194

背景

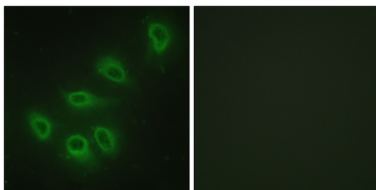
一酸化窒素は、神経伝達、抗菌作用、抗腫瘍作用など、様々なプロセスにおいて生物学的メディエーターとして作用する反応性フ

リーラジカルです。一酸化窒素は、一酸化窒素合成酵素によって L-アルギニンから合成されます。この遺伝子の変異は、冠動脈痙攣の感受性と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009 年 5 月],触媒活性: L-アルギニン + n NADPH + n H(+) + m O(2) = シトルリン + 一酸化窒素 + n NADP(+),補因子: 1つの FAD と結合します。補因子: 1つの FMN と結合します。補因子: ヘム基,補因子: テトラヒドロビオプテリン (BH4)。酵素の二量体形態を安定化させる可能性があります。酵素調節: カルシウム/カルモジュリンによって刺激されます。NOSIP および NOSTRIN によって阻害されます。機能:cGMP を介したシグナル伝達経路を介して血管平滑筋の弛緩に関係する一酸化窒素 (NO) を生成します。NO は、冠状血管において血管内皮増殖因子 (VEGF) 誘導性血管新生を媒介し、血小板の活性化を介して血液凝固を促進します。オンライン情報:一酸化窒素合成酵素エントリー,多型:NOS3 の変異は、冠動脈けいれんに対する感受性と関連しているようです。類似性:NOS ファミリーに属します。類似性:1つの FAD 結合 FR 型ドメインを含みます。類似性:1つのフラボドキシ様ドメインを含みます。細胞内位置:細胞周期の G2 期にアクチン細胞骨格と特異的に関連します。これは NOSIP との相互作用によって促進され、酵素活性の低下をもたらします。サブユニット:ホモ二量体。NOSIP および NOSTRIN と相互作用します。組織特異性:血小板、胎盤、肝臓および腎臓。

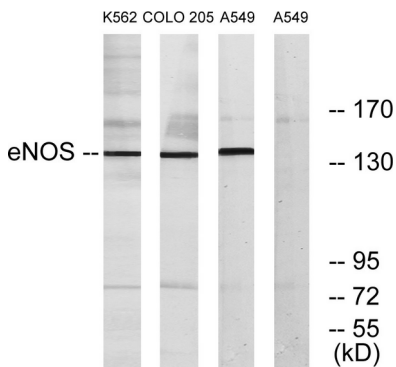
研究分野

血管新生を制御する; AMPK; PI3K/Akt; タンパク質アセチル化

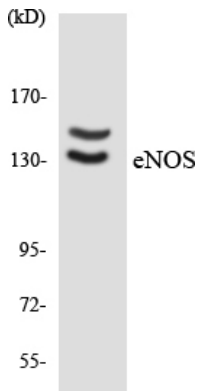
画像データ



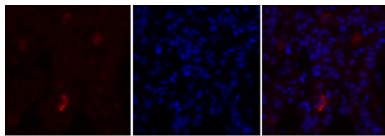
eNOS 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



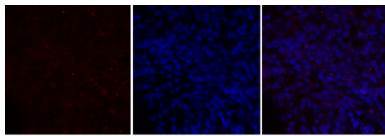
eNOS 抗体を用いた A549、K562、および COLO205 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



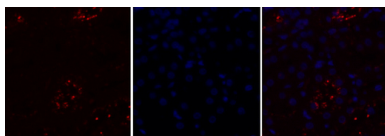
eNOS 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。



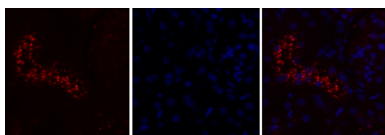
ラット肺組織の免疫蛍光染色。1, NOS3 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



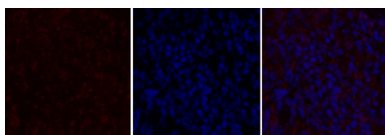
ラット肺組織の免疫蛍光染色。1, NOS3 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



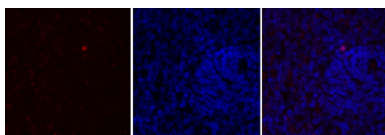
ラット腎臓組織の免疫蛍光染色。1, NOS3 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の融合。



ラット腎臓組織の免疫蛍光染色。1, NOS3 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の融合。



ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, NOS3 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。



ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, NOS3 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B のマージ。